

科目名	論文輪講 Colloquium	科目コード	41480
-----	--------------------	-------	-------

学科名・学年	物質工学科・5年（プログラム2年）
担当教員	物質工学科 全員
区分・単位数	必修・1単位
開講時期・時間数	後期, 30時間【内訳：講義0, 演習0, 実験0, その他30】
教科書	担当教員が指示
補助教材	担当教員が指示
参考書	担当教員が指示

【A. 科目の概要と関連性】

現在、化学・生物化学関連の論文のほとんどは、英文で出版されている。そのため、英語文献の速読は極めて重要である。卒業研究指導教員の下で、研究テーマに関連した著書や論文を読むことにより、英語速読力を付けると共に研究テーマの基礎知識、背景や最新の情報を得ることを目指す。

○関連する科目：卒業研究（5年次履修）、科学技術英語Ⅰ（4学年後期履修）、科学技術英語Ⅱ（5学年前期履修）

【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の(D)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

科目の到達目標	評価の重み	学習・教育到達目標との関連
化学英語論文の構成と内容を理解する能力を高める。	100%	(d1)

【C. 履修上の注意】

英語文献を読むことは研究を行ううえで最も重要な作業である。英語文献を正確に読むこと、英語文献から知識を得ること、論文中の図・表を理解することは多少の「コツ」が必要であり、その「コツ」をよく呑み込むことが肝要である。そのためには、日頃から英語に親しむことと、関連する日本語の総説や参考書を読むことが必要である。

【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

- レポート（100%）【英語論文を和訳したものを提出する。内容の理解度について評価する。】

【E. 授業計画・内容】

- 前期
- 文献検索法
- 英語論文の構成
- 英語論文の和訳
- 卒研関連論文

について、各卒研室単位で学ぶ。